

# 養液栽培における高温性水媒伝染病害の安全性診断マニュアル

短時間で正確に病原菌を検出できる「簡易検出法」と防除対策のための「安全性診断マニュアル」

## 研究開発の背景

- ・高温性ピシウム菌による病害が、野菜・花き類の養液栽培で問題になっている。
- ・被害の軽減には、発病する前の早期診断による病原菌の検出と適切な対策が重要。
- ・病原菌の早期診断技術の開発と、その結果を利用した防除対策を実施する必要がある。



トマト

高温性ピシウム菌は、夏から秋の高温期に養液を通じて短時間で広がり、萎れや根腐れなどを起こす。

## 研究成果の内容

防除対策のための「簡易検出法」と「安全性診断マニュアル」を作成※

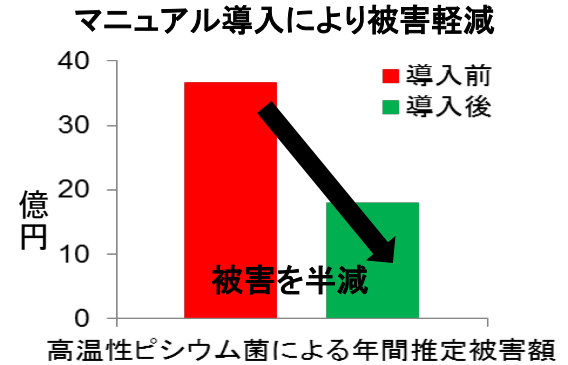
### 高温性ピシウム菌の簡易検出法



### 作成した「安全性診断マニュアル」



導入メリット



・マニュアルの導入により、効率的・効果的な被害軽減対策が可能になり経済損失を回避

・高温性ピシウム菌による被害の50% (18億円/年) 削減を目標

(ポインセチアでの導入事例)

・ポインセチアの被害が毎年発生していた施設で、病原菌検出結果にもとづく洗浄消毒により被害を根絶。

## 期待される効果

※マニュアルは岐阜大学流域圏科学研究センターのホームページからダウンロード可能。

- ・高温性ピシウム病害の早期対策で養液栽培による農作物の安定供給が可能。

導入をオススメする対象  
全国の養液栽培生産者